EA993ED(油圧レスキューセット)取扱説明書

⚠ 重要事項

この取扱説明書を読んで理解したうえでジャッキを使用、保守をして下さい。
また現場責任者と使用者は重大な危険事項を理解して下さい。
・使用や保守には注意を払って下さい。
・現場責任者は使用に必要な情報を確認し作業に役立てて下さい。
もしこのジャッキを他の現場で使う場合はその現場責任者や作業者に
この取扱説明書を一緒に渡してください。
・最新の法律や規制に従った業務を行なって下さい。

◆ **一般的な注意事項**

・使い方をよく理解して練習してからご使用下さい。
・取扱説明書に従ってご使用願います、従わない場合はケガや事故が起こります。
・ご使用前に問題ない状態であるかチェックして下さい。
・問題が見られた場合は使わないで下さい。
・改造またはご自身や弊社の認可がないリペアショップで修理された場合のトラブルに
関する一切の責任は負いかねます。
・能力以上の荷重を持ち上げないでください。
・荷重はヘッドの中心に正しく置いてください。
・熱源または火の近くに本機を置かないでください。

◆ 仕様

＜セット内容＞

●スプレッダー
（能力：0.5t・開口幅：85mm）
●ハンドポンプ
●カプラー付油圧ホース(1.8m)
●90° Vベース
●ウェッジヘッド
●スプレッダープランジャートゥ
●スプレッダープランジャーラム
●フレックスヘッド
●スレッテッドサドル
●フラットベース
●延長棒
（130mm・250mm・500mm・640mm）
●ジャッキ
（能力：10t・ストローク：150mm）
●各種コネクター、ロックピン
●メタルケース付
●ケースサイズ…710(W)×288(D)×155(H)mm
●総重量…40.5kg

＜ジャッキ＞

●能力…10t
●ストローク…150mm
●本体高さ…355mm
●ベースサイズ…φ40mm

＜手動ポンプ＞

●使用圧力…70MPa
●吐出量/ストローク…2.5mL
●タンク容量…700mL
●全長…545mm
●油圧ホース…1.8m

◆ 取扱・移動・保管

1 保管

乾燥した場所で保管して下さい。

2 取扱・移動

・ジャッキ本来の目的のみでお使い下さい。ハンドルを持って移動しないで下さい。
・落としたり投げないで下さい。レバーからの衝撃はピストンが壊れポンプが使えなくなります。
・移動時にジャッキが動かないように、周囲のものが当たらないように固定して下さい。

◆ 使用

1 使用現場

このジャッキはツメやヘッドで固く平らな床面(例:コンクリート床)から重量物を持ち上げたり移動する設計になっています。
本体が入らないような場所でも爪さえ入れば使うことができます。
爪やゴムなどの様々なヘッドに交換できますので、状況に応じて使い分けてください。(図1)

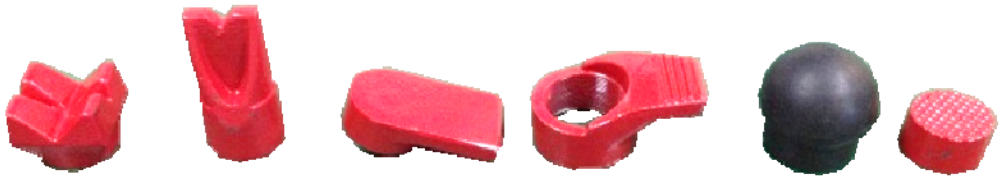


図 1　ヘッドの形状

2 接続方法

<ジャッキ>

ヘッド、ジャッキ、アダプター、ベースはそれぞれ、雄ねじ、雌ねじで接続します。
アダプターの代わりに各種延長棒を接続できます。
ポンプのホースのコネクターをジャッキの雄ねじに接続してください。

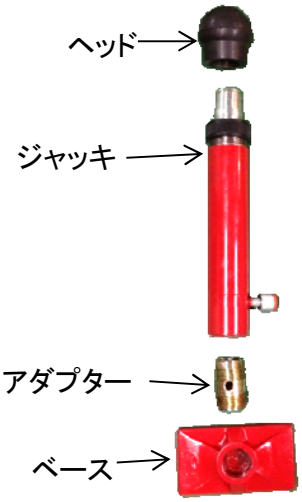


図 2　ジャッキの接続

<スプレッダー>

スプレッダーには直接、ハンドポンプを接続してください。

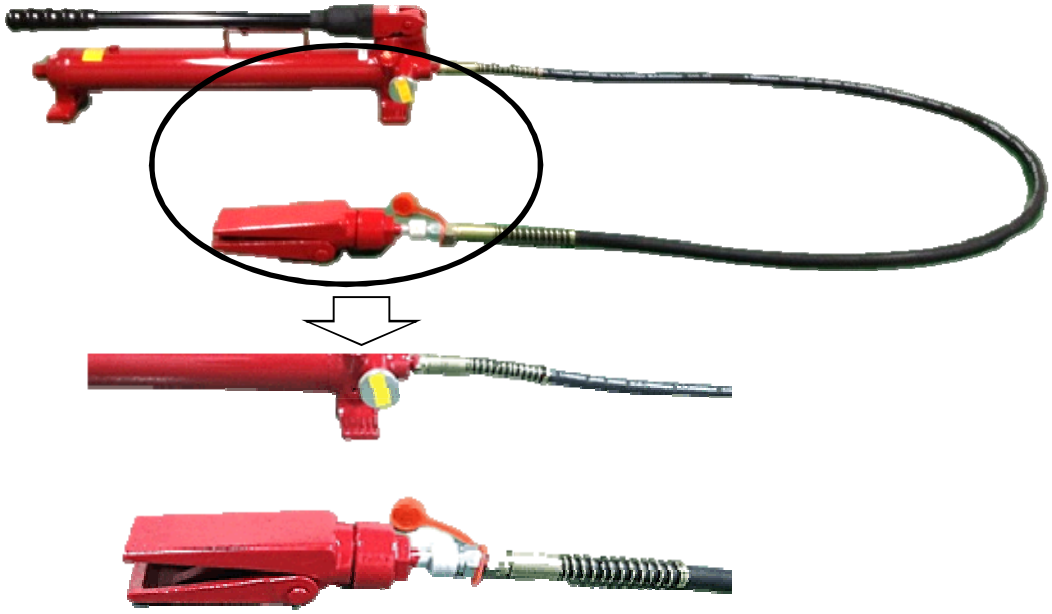


図 3　スプレッダーの接続

3 操作

<上昇>

・リリースバルブノブを右(時計方向)に
止まるまで回してください。
・ハンドルを上下させてポンピングして下さい。

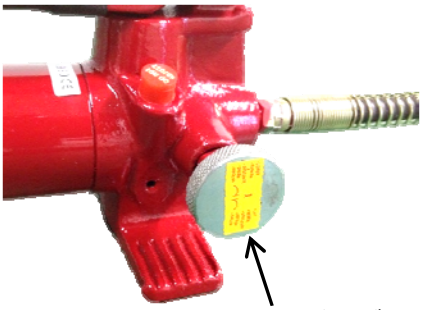


図 4　リリースバルブノブ

<下降>

・リリースバルブノブをゆっくりと左(反時計方向)
に回してください。ノブを緩めるほど
積荷は速く降りてしまいます。
・ノブが硬く締まった瞬間に止まります。

⚠ **注意：荷重がかかっていない時ヘッドを必ず一番下まで押し下げて下さい。**

⚠ **警告：修理以外、部品を外さないで下さい。**

4 安全対策

・積荷の持ち上げは危険を伴う作業です。必ず操作方法を理解し練習をして慣れたうえで
使用して下さい。
・最大重量を超えないで下さい。
・操作前に作業場所や荷物が安定して作業に耐えられるか確認して下さい。
・平らな表面のみで作業して下さい。
・操作前に積荷と床の間に安定して置いて下さい。
・操作中に積荷が滑ったり落ちたりしないようにバランスを確認して下さい。
・人が上に立っている時に使用しないでください。
・常に予期しない故障が起こった場合の作業者のケガや周囲の影響がないように作業の準備を
して下さい。
・爪の端で持ち上げないで下さい(または爪が動いた後の状況で)。
・途中で積荷に荷重を追加しないで下さい。
・荷重を把握して下さい。
・ヘッドで稼動時に片側だけに荷重を掛けないで下さい。
ヘッドを積荷に完全に当たるようにして下さい。(図 5参照)
・複数台のジャッキでの荷揚げ作業はいかなる場合においても難しく慎重な準備と
陣頭指揮が欠かせません。
特に上げ下げの工程中には細心の注意を払って下さい。
その際　ジャッキ1台に掛かる荷重は、総合計をジャッキ台数で割ったものより　かなり大きいものが
掛かります。

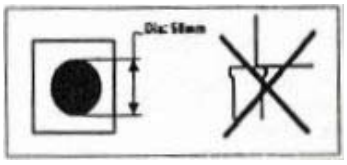


図 5　荷重の掛け方

◆ メンテナンス

1 ご使用前に

・全てのプラグやネジはしっかり締まっているか手締めで確認して下さい。
・オイルの漏れはないか確認して下さい。
・シリンダー、爪、ベースに変形やひび割れがないか確認して下さい。
・荷重がかかっていないときポンプ操作は正常か確認して下さい。

2 定期チェック

使用頻度が高ければ頻繁に行なって下さい。最低でも1年に1回は行なって下さい。

・全てのナット、ネジ、プラグは固く締まっているか確認し、緩んでいれば締めて下さい。
・荷重がかかっていないとき全工程の上げ下げを確認して下さい。また漏れの兆候も見落としてはいけません.(柱とピストンを除く)
圧力を開放して柱の打痕や引っかき傷、または真っ直ぐであるかを検査して下さい。
欠陥があれば交換して下さい。
・下まで手で下ろしながら摩擦がないか確認します。(多少の震動は異常ありません)
・外観を注意深く調べて下さい。
-柱:変形、ひび割れ、打痕
-ポンプレバー:変形、ピンの極端な隙間 (もし見つかったらピンを交換して下さい)
-爪:変形、ひび割れ
-ベース:変形、ひび割れ
・異常の疑いがあれば直ちに使用を中止しご購入の販売代理店へ修理を依頼して下さい。
・欠陥部品は交換しなければなりません、曲がりを伸ばしたり過熱したり溶接して使わないで下さい。

◆ エアー抜きに関して

[症状]

・シリンダーがポンピングしてもすぐに上がらない場合
・圧力が安定しない
・油漏れが無いのに圧力が下がる

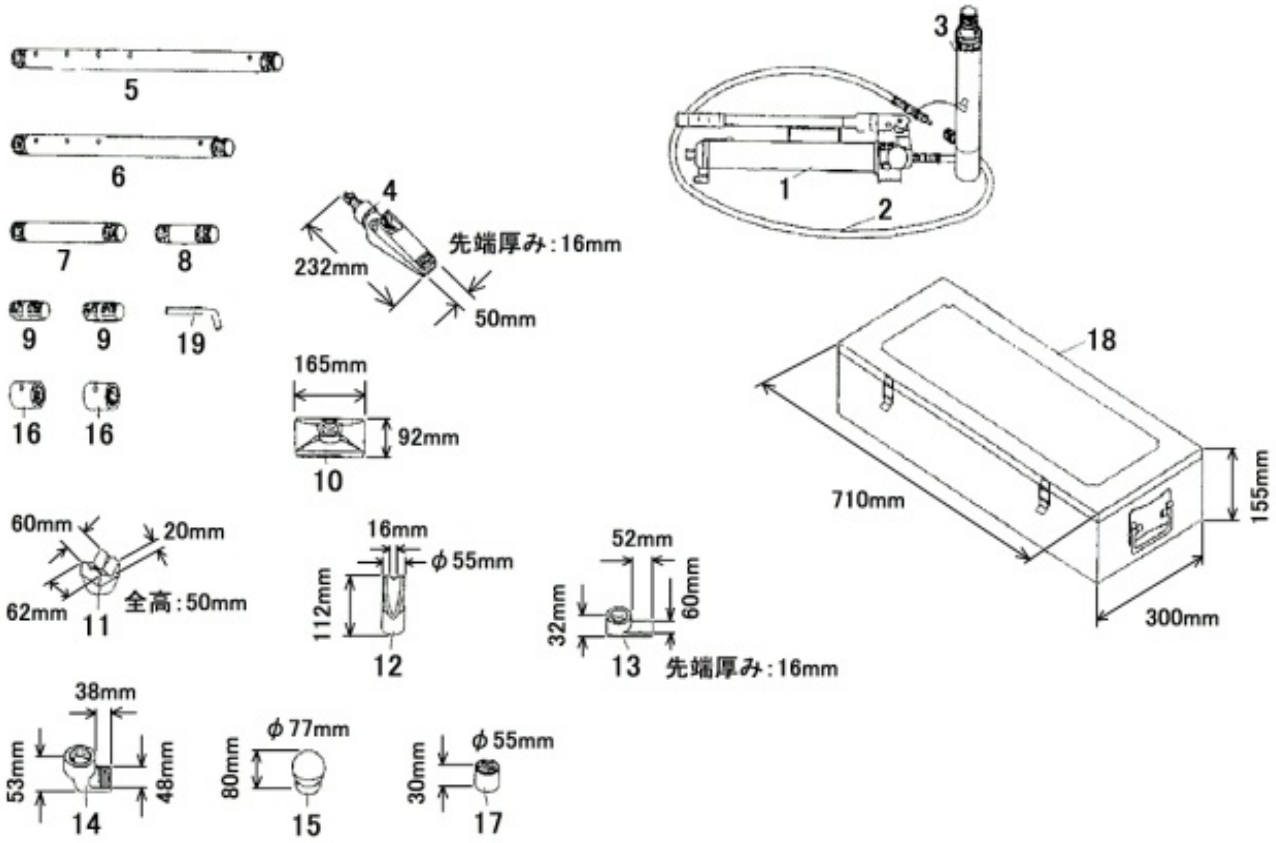
上記のような症状が発生しましたら、エアー抜きを行ってください。

◆ エアー抜き方法

1. 荷重を掛けずにシリンダーを20cm程度上げます。
2. 図6の様に、シリンダーを逆さまに向けます。
3. リリースバルブを開けて、シリンダーを縮めます。
4. 縮みきったら完了です。
これで改善しないときは2～3回同じ動作を繰り返してください。

図 6 シリンダーを逆さまにしたところ

◆ パーツリスト



1:ハンドポンプ
2:カプラー付油圧ホース(1.8m)
3:ジャッキ(能力:10t、ストローク:150mm)
4:スプレッダー
5:延長棒(640mm)
6:延長棒(500mm)
7:延長棒(250mm)
8:延長棒(130mm)
9:オスコネクター
10:フラットベース
11:90° Vベース
12:ウェッジヘッド
13:スプレッダープランジャートゥ
14:スプレッダーラムトゥ
15:フレックスヘッド
16:メスコネクター
17:スレッテッドサドル
18A:メタルケース
19:ロックピン

改造はしないでください。
●本機の寿命を著しく損ねる場合があります。
●ご使用者が怪我をする場合があります。
●作業行程に支障を来たす場合があります。

株式会社 エスコ
本社／〒550-0012 大阪市西区立売堀３－８－１４
TEL (06)6532-6226 FAX (06)6541-0929